

ウクライナ戦争。毎日情報更新。午前10時 2022年4月1日

外交政策: 木曜日、ストルテンベルグNATO事務総長は「ロシア部隊は撤退するのではなく、再配置されている」と述べました。ロシアは、ドンバス地域への攻撃を再編成し、補給し、強化しようとしています。同時に、ロシアはキーウや他の都市に圧力をかけ続けています。以前、米国と英国の当局者もこの情報を確認していました。

OSCE特別監視ミッション(SMM)のウクライナ任務の延長につき、ロシアによって阻止されたことを伝える[公式声明](#)が発表されました。同ミッションはウクライナ政府からOSCEへの要請を受け、57の参加国すべてによる合意決定により、2014年からドンバス地域の国際モニターとして存在しています。ラウOSCE議長は「ミッションは、現場の安全と人道的状況に関する客観的な情報を提供し、紛争が民間人に与える影響を緩和するために絶え間なく取り組むことで重要な役割を果たしてきました」と述べました。

メツォラ欧州議会議長がキエフを[訪問します](#)。彼女は、戦争開始以来、ウクライナを訪問するEU機関の最初のトップになります。訪問の詳細は明らかにされていませんが、[報道官](#)は彼女が「欧州議会に代わって支持と希望のメッセージを渡す」ことを確認しました。

今週末、ハンガリー、フランス、セルビアで選挙が行われます。選挙活動は、ウクライナでの戦争の影響を受けています。フランスでは、マクロン大統領は、彼自身の選挙活動とともに、欧州連合理事会でのフランスの議長国としての地位を[活用して](#)きました(編集注: 各加盟国は、半年ごとに加盟国が欧州連合理事会の議長国を交代で務めることになっています)。さらに、同大統領はプーチンとの平和維持プロセスの試みを操縦しようとし、ロシアとの最後のコミュニケーション・チャネルとして動いていました。ハンガリーとセルビアに関しては、両大統領のロシアとの繋がりに関わらず、彼らはおそらく再選する見込みとなっています。ハンガリーとセルビアの選挙状況分析の[詳細](#)をご覧ください。

再配置か撤退か: ゼレンスキー・ウクライナ大統領は毎晩の演説で、ウクライナ南部とドンバスの困難な状況を強調し、包囲されたマリウポリ市の近くでのロシアの軍隊の増強について警鐘を鳴らしています。ポーランドの首相はCNNのインタビューで、現在の軍の再編成・再配置のための準備を考慮すると、ロシアは交渉の立場を有利にするためにウクライナの領土の3分の1を占領することを目指していると[警告](#)しました。マリヤール・ウクライナ国防次官は、ロシア人はドネツクとルハンスク州全体を完全に支配することを目指しており、その上、ハリコフ州を乗っ取るかもしれないと[述べました](#)。より多くのミサイルシステムがベラルーシのホメリの近くに再配置されているように、ロシア軍の活発な動きがあります。

攻撃を受けている都市: ドニプロペトロウシク州にある軍事基地にロシアのミサイル2発が命中し、その結果、2人が死亡、5人が負傷した。ロシア軍はハルキウで砲撃を強化しており、ミサイルが都市の中心部を攻撃しています。また、同州では、砲撃によりガス・パイプラインが損傷し、34,000人の住民に対するガス供給が停止しています。キーウ州ファストフ市にある石油貯蔵所でロシア軍が発砲した。激しい砲撃はルハンスク州、特にシェヴェロドネツク、ルビージュネ、リシチャンシク、クレミンナで行われました。20のインフラ施設が損傷し、うち9区画のアパートブロックと9つの民家が含まれています。解放されたスーミ州トロスティアネツは、都市の90%が暖房、水、電気を失っており、助けを求めています。メリトポリでは、侵略者に協力しないよう、すべての学校長が辞表を書いたとフェドロフ・メリトポリ市長は述べています。ウクライナ当局、赤十字国際委員会、ロシアの通信社が、金曜日にマリウポリで人道回廊が開設される可能性があるかと報告しました。最後に、ウクライナ軍は、ヘルソン州で11つ、ザポリージャ州で5つ、チェルニーヒウ州で2つの居住区を解放しました。

エネルギーの安全保障: 世界原子力発電事業者協会(WANO)は、ウクライナのすべての原子力発電所の操業をWANOパリセンターに[移管](#)します。以前は、ウクライナの原子力発電所はWANOモスクワセンターの一部でした。同協会は、世界の発電所運営者を集め、原子力発電所間で経験の交換を促進し、協会のメンバーが協力して、原子力発電所の運営において最高レベルの安全性と信頼性を達成できるようにします。

1か月以上にわたる占領後、ロシア軍はチェルノブイリ原子力発電所から撤退しました。ウクライナ・チェルノブイリ立入禁止区域管理庁は「現在、チェルノブイリ原子力発電所の敷地には許可されていない人員はいない」と述べました。しかし、近隣の多くの原発作業員が住むスラヴティチ市長は、ロシア軍が原発占領の最初の日からウクライナ国境警備庁職員を人質に取っている旨[伝えて](#)います。

経済安全保障: 欧州復興開発銀行(EBRD)は、ウクライナでの戦争が大幅な成長鈍化を引き起こし、少なくとも1970年代初頭以来の最大の供給ショックについて[警告](#)しています。戦争は、食料、石油、ガス、金属などの商品のコストの増加につながり、経済、特に低所得国の経済に深刻な影響を及ぼします。EBRDの予測では、今後数か月以内に停戦が行われた場合、2023年末時点のウクライナのGDPは依然として戦前の水準を下回ると想定しています。

制裁: ロシアに対するさらなる制裁が発表されています。オーストラリアは、ロシアとベラルーシからのすべての輸入品に35%の追加関税を[課](#)しています。以前、同政府は500以上のロシア企業と個人に大規模な制裁を課し、ロシア産石油の輸入を禁止しました。制裁に加えて、オーストラリア政府は人道援助、石炭熱供給、および一時的な保護システムを提供します。米財務省は、科学研究と技術の分野で働く13人のロシア人個人と21のロシア法人に制裁を課しました。制裁は、ロシアの制裁回避ネットワークとテクノロジー・セクターの企業を対象としています。

EUはすでにロシアに対する制裁第4パッケージを導入しています。ただし、ロシアが大きな影響を受けるまでにはしばらく時間がかかると考えられます。一部のEU加盟国は、ロシアとのガス取引の切断を進めることに躊躇しています。ロシアのガスは、パイプラインだけでヨーロッパのガス輸入の42%を占めていました。メディア・[ポリティコ](#)は、ロシア産ガス輸入を止めることは、すでに高インフレの懸念に取り組んでいるヨーロッパ諸国にとって痛手となる不況を生み出すだろうと述べています。ヨーロッパのエネルギーはロシアからの輸入の約3分の2を占め、2020年には約601億ユーロとなっています。EUのエネルギー依存度に関する[直近のファクトシート](#)をご覧ください。

デジタル・セキュリティ: [報告](#)によると、ロシアはハンガリー外務省ネットワークに完全にアクセスでき、ハンガリー政府はそれらを阻止することができませんでした。ロシアのハッカーは、2022年1月の最新のものを始め、同省の通信網に対する一連の攻撃を行いました。これにより、ロシアはすべての公式通信および文書にアクセスできるようになりました。一方、このロシアのサイバー・スパイに対するハンガリー政府の公式抗議はありませんでした。

テックワーカーは、ウクライナのロシアのデジタル封鎖に参加するよう企業に[促します](#)。Microsoft、SAP、IBMは以前、ロシアでの事業を制限することを発表しましたが、ウクライナの訴えにもかかわらず、ロシアでの事業またはスタッフを維持しています。マイクロソフト、SAP、IBMのいくつかの従業員は、ウクライナへの侵攻を受けて、ロシアから完全に撤退するよう経営陣に呼びかけています。

水曜日に発表されたグーグルの脅威分析グループの[報告書](#)によると、最近、ロシアのハッカーがNATOといくつかの東欧諸国の軍隊のネットワークに[侵入しよう](#)としました。どのユニットが標的にされたかについての情報は入手できませんが、目的の1つはクレデンシャル・フィッシングでした。



偽情報: ロシア国防省は「ウクライナの生物兵器」に関する新しい声明を発表しました。この文書は「5つのキーウ生物研究所」の活動が終了したとしています。ロシア国防省は、米国大統領の息子であるハンター・バイデン氏がウクライナでの病原体研究に関与したと主張している。ロシアはまた、ウクライナがパイラクトルを含むドローンを使用して放射性、生物学的に危険な麻薬物質を輸送する[可能性](#)を検討したと主張している。

リーディングリスト:




- [European Pravda](#)『[No Peace, No Guarantees](#): イスタンブールでのウクライナとロシア戦争交渉の詳細と結果』: ウクライナの著名なセキュリティ専門家の見解を表す一貫した分析であるため、本日の記事にしました。イスタンブールでのウクライナとロシアの間の最近の交渉で議論された事柄について、ウクライナの視点を理解して下さることをお願いします。

統計情報:

- 国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR) は、ウクライナでの一般市民の犠牲者は3039人(死亡者1179人、負傷者1860人)と発表しました(3月28日深夜現在)。OHCHRは、実際の犠牲者数ははるかに多いと考えています。
- キーウ州では、戦争の開始以来、ロシア軍は少なくとも75の教育機関を破壊または損傷しました。
- [1,300の居住区画](#)には電気がありません。
- ウクライナ軍参謀本部は、2022年4月1日午前10時現在のロシア軍の推定損失を発表しました: 人員約17,700人、戦車625台、装甲戦闘車両(APV)1,751台、砲兵システム316台、多連装ロケットシステム(MLRS) 96台、対空航空機戦闘システム 54台、固定翼機 143台、ヘリコプター 131台、軽装甲車 1,220台、ボートおよび軽装ボート 7台、燃料タンカー 76台、運用戦術レベルUAV 85台、特殊装備 24台、移動式短距離弾道ミサイルシステム 4台。また、ロシアの損失について[同ページ](#)を参照してください。

 すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません! 

- [NGO「Zgraya」](#)は、2014年から2015年にウクライナ東部の軍隊と協力したボランティアのグループです。彼らは、民間人と病院に医薬品と機材を、ウクライナ軍と領土防衛関係者に機材、機械、医薬品、食糧を提供する業務を再開しました。 [詳細をご確認し、支援をお願いします](#)。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- [PayPal](#)経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。 [詳細](#)はこちらです。

 ウクライナをご支援いただきありがとうございます  **Slava Ukraini!**  ウクライナに栄光あれ! 